



Contents

1. 社長室から、こんど～です
2. 経営まめ知識：『世界一幸せの国ブータンと仕事について』
3. もし、割り引いた手形が、不渡りになったら



大成経営コンサルティンググループは、財務会計総合コンサルタント業として、企業経営に関するあらゆるご相談にワンストップで対応しております。

- ◆(株)大成経営開発……………財務会計総合コンサルティング <http://www.taiseikeiei.co.jp>
- ◆(株)エイビスアソシエイツ……………記帳代行、給与計算 <http://www.taiseikeiei.co.jp>
- ◆(株)大成不動産……………不動産・資産運用
- ◆(株)アップワード エスト保険……………生命保険、損害保険 <http://www14.ocn.ne.jp/~esthoken>
- ◆(株)大成アフエクション……………居宅介護支援、通所介護事業
- ◆(株)大成グローバルトレーディング……………商社、貿易業務 <http://www.taisei-gt.co.jp>

清永税理士事務所・飛石税理士事務所・今井税理士事務所・高木社会保険労務士事務所・竹馬社会保険労務士事務所
社会保険労務士あきおか事務所・村上司法書士事務所・的場土地家屋調査士事務所・行政書士法人エド・ヴォン

社長室から、こんど～です

若葉かおる5月も終わり、九州地方は梅雨に突入いたしました。
今年は4月から各地で氷が降ったり、竜巻が起こったり、雷が落ちたりとちょっといつもの年とは違います。大雨による災害が起きなければよいなと思いながら雨を眺めています。



最近電車や、バスに乗ると「人は自分が期待するほど、自分を見てはくれないが、がっかりするほど見ていなくはない」
考えに、考えて、考え抜けば結果は必ず叩き出せる。
と書いてあるチラシが下がっていました。
「ふ～んそうか」面白そうな本だなと思いながら見ていました。
早速本屋さんでこの本を買ひ、まず目次に目を通しただけで引き込まれました。

私が一番先に読んだのは「負ける」と「負けている」は、全く別物であるのです。
誰の目にも、勝敗が明らかな時がある、しかし本当はまだ、勝負は決まっていない。本書では競馬にたとえ10万円持って行って99,900円なくなったら多くの方が負けたと思う、が残りの100円がある限りそれはプロセスであり勝ちでも負けでもないとする。仕事でも人生でも、敗北濃厚な時がある。しかしそれは負けの決定でなくプロセスであり、むしろ敗北とは何の関係もないと考えるべきだ。危機に陥った時に「弱気にならない、あきらめない」いくら不利な状況でも敗北など訪れない。100円がなくなったときに負けは確定する。100円があるうちはまだ大丈夫と努力すれば、事態はそのうちに好転する、**負けを確定させるのは自分の心の弱さです。**
こんな風書いてあります。

その次は「一喜一憂は生きている証」（強い精神力を持ちながら、細やかに感受性を働かせる）
人が感情を露わにしたがらないのは気取りであることが多いまったく同感です。
私たちも顧問先さんの売り上げが少しでも上がれば一緒に喜び、顧問先さんの店舗のそばにライバル店が出来ると言えば大丈夫だろうか？と心配し毎日過ごしています。大切な事です。

リーダーや社長の集中力や執念が組織全体に波及する、社長がぼっとしていて社員が必死になれるわけがない、（経営者は感情豊かに）当たり前です。
安定している中にも一喜一憂は必要です。
次はギャンブルには手を出せ（特に面白い）
飲む、打つ、なんとか、と耳にしますが、ここではこう書いてあります。
ギャンブルで勝つためには、**自己抑制が必要だ。それはビジネスや人生にも当てはまる。誘惑に負けず、どう自分を律するかは、身をもって覚えるしかない。**
運、ツキ、流れは経験しないとわからない理論ではない。
最後に誰とも違う自分へ
幻冬舎の代表の見城徹さんとサイバーエージェント代表の藤田晋さんとで書かれたこの本をぜひ皆さんお読みくださいませ。
ありがとうございました。

（株大成経営開発社長 近藤 記）



社長ブログ: 近藤社長の体と会社のダイエット日記
毎日更新しています！是非読んでください！
<http://www.taiseikeiei.co.jp/blog/diet>

経営まめ知識：『世界一幸せの国ブータンと仕事について』

いま東京です！！今日の東京は、快晴で気温もそう高くなく心地よい1日みたいです！！東京スカイツリー界隈は、家族連れで大変でしょうね！！この平和な1日が、続きます様に・・・という心境です！！みなさん如何お過ごしでしょうか???

今日は、『世界一幸せの国ブータンと仕事について』話しをしてみたいと思います。アジアの小国で人口69万人の国ですが、**国民総幸福量で世界No.1**だそうです！！

幸せについては、経済的な幸せと人間的な幸せがあるみたいです！！またそのバランスが大事みたいです！！まず幸せになるためには、3つの条件があるそうです！！**①まず幸せになりたいと想う事②否定的ではなく肯定的に考え生きていく事③なりたい自分を決め理想を追求する事**・・・この3つだそうです！！うん・・・なかなか難しいですね！！幸せについて意識もしていなかったが、教えてもらった事もないし???.ある意味当たり前なのですが、もし教えてもらったとしても出来るかは別問題だし.....



幸せになる考え方を身に付けると経済的に幸せになるみたいです！！幸せになる考え方とは、上記の3条件です。その3条件を人生で具現化できるのは、家庭ではなく仕事を通じてです！！

人間が最高に幸せと感じるのは、家族がお客様が周りの人が喜んでくれた時です！！これは、人生の中に仕事の中にいつも起こっている事です！！周りの人に喜んでもらうためには、自由とか権利より義務や貢献を果たすことから始まります！！人間は、幸せになりたいと思ったらまず自分の周りに『仕える事』から始まります！！自分から義務や貢献を果たすことです！！家庭でもそうです！！仕事でも勿論そうです！！自分から周りへの義務や貢献から始まり、やがて権利や自由が手に入るみたいです！！権利や自由が手に入った時に必要なのが、周りに対する感謝や儉約です。



周りへ『仕える事』を物心両面で成長できる事を、すべて『仕事』と言うみたいです。仕事とは、周りの人に喜んでもらう事です！！これが最高の幸せなのです！！私生活を含めた仕事（仕える事）を通じて、人間は成長でき幸せを感じる動物です。人生の一部に時間を区分して仕事があるのではない！！人生そのものが仕事なのです！！仕事の中で人間は、成長し物心両面の幸せが手に入るみたいです！！

また、面白い事に経済的に成功した人、人間的に成功した人で失敗していく人がいます。これはそうなった人でないと分からないかもしれませんが、そのような方々から相談を受けるのが私の仕事のひとつでもあるので良く理解できます！！ではその両方で成功していく人とは、どんな人でしょうか???.それは**①自分の可能性を信じて②肯定的に前向きに生きて③周りへの感謝を忘れない人**が、人間的にも経済的にも幸せを継続していける人みたいです！！

混沌とした世の中です！！ブータンみたいな人間を目指して生きていきましょう！！みなさまのご健闘を祈ります！！

(東京事務所にて)



会長ブログ: 自由人石本の毘沙門天世界放浪記
毎日更新しています！是非読んでください！
<http://www.taisei-go.co.jp/blog>

もし、割り引いた手形が、不渡になったら！！！！

資金繰りの方法として、よく割引手形という手段が使われる事があります。支払日前に割引料を支払って銀行に買い取ってもらい、手形の支払日前に現金化するという方法です。

銀行が行う、4つの種類の融資、手形割引、手形貸付、証書貸付、当座貸越がありますが、その中で手形割引は、銀行としては最も行いやすい、融資方法です。しかし、手形割引の場合でも、不渡りになり資金の回収が出来なくなった場合割引をした会社に戻してもらわなければ、ならない為、通常の融資と同じように融資審査が行われます。

審査では、割引をした会社と振り出した会社の両方の審査が行われます。手形割引は、割引の総額いくらまでなら割引できるかの枠を設定する、極度設定の方法、それと手形割引の依頼がある都度、審査がなされる方法があります。

またA社が振り出した手形は割引するが、B社が振り出した手形は割引しないというように、手形振出し会社それぞれで、割引する、割引しないが決められることもあります。

■受取手形が不渡りになった場合

会社が銀行に割引してもらっていた手形が、不渡りになった場合、銀行から割引した手形の買戻しが要求されます。

実務的には、買戻し資金を証書貸付として銀行が融資を出し、買戻し資金を補てんすることが多いです。

しかし不渡り手形の買戻し資金の融資は、実質赤字補てんの融資ですから、このように買戻し資金の証書貸付が行われた後は、その銀行での今後の新規融資や手形割引が困難になることが多いです。

■不渡りになった後、手形の支払いを要求する

手形が不渡りになっても、その手形の支払いは、手形振出し企業や、あなたの会社の前の裏書譲渡企業に対し、要求することができます。

しかし手形振出し企業に要求するといっても、不渡りを出した企業ですから、破綻に向かって進んでしまっているのが普通であり、容易に支払ってもらうことはできません。

しかし破産や民事再生などの段階にいないのであれば、だめでもともとで、その手形振出し企業に対し、手形の支払いを要求します。

そういった企業に対しては、他にも多くの企業が、支払いを求めて一斉にやってくるということが予想されますから、一刻も早く動くことが大切です。

編集後記：6月にはいり、そろそろ雨が多くなってきました。6月は田植えのお手伝いに行きます。一度田んぼに入ると動くことさえできなくなります。お手伝いというより邪魔をしにしているようですが、農家さんのご苦労が身に染みてわかる時期です。さて、今年も張り切って行きます。